



令和7年度 栃木県こどもモニター
第2回アンケート結果
(中学生)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第2回アンケート期間

令和7年8月25日（月曜日）から9月17日（水曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

162 名

5. 第2回アンケート回答者数

140 名

6. 第2回アンケート回答率

86.4%

※ 「その他」の自由記述回答については、こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」に基づき、こども・若者にとって読みやすく伝わりやすいものとするため、内容を整理して掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	65	56	40.0%	86.2%
女性	95	83	59.3%	87.4%
その他	2	1	0.7%	50.0%
合計	162	140	-	86.4%

学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
中学 1 年生	43	37	26.4%	86.0%
中学 2 年生	78	68	48.6%	87.2%
中学 3 年生	41	35	25.0%	85.4%
合計	162	140	-	86.4%

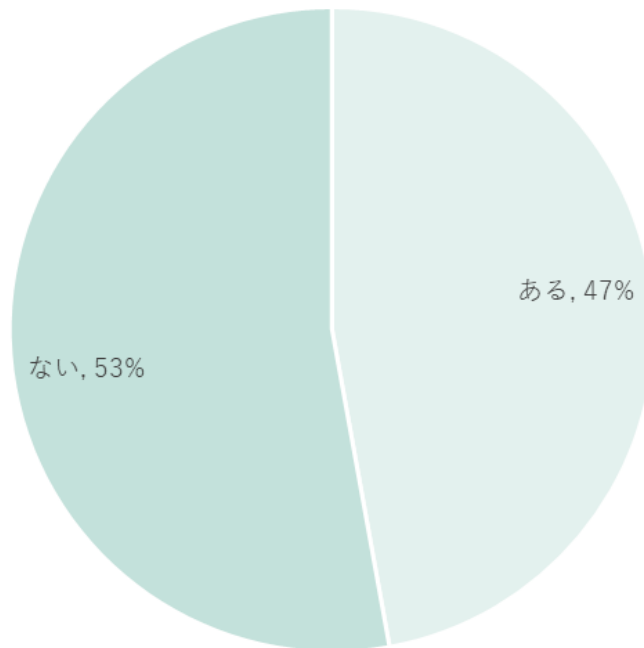
※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したものになります。そのため、合計が 100.0%にならないものがあります。

※ 各アンケート結果の数値は、見やすさを重視し割合は小数点以下を四捨五入して整数で表示しています。

テーマ 1

環境に関する意識について

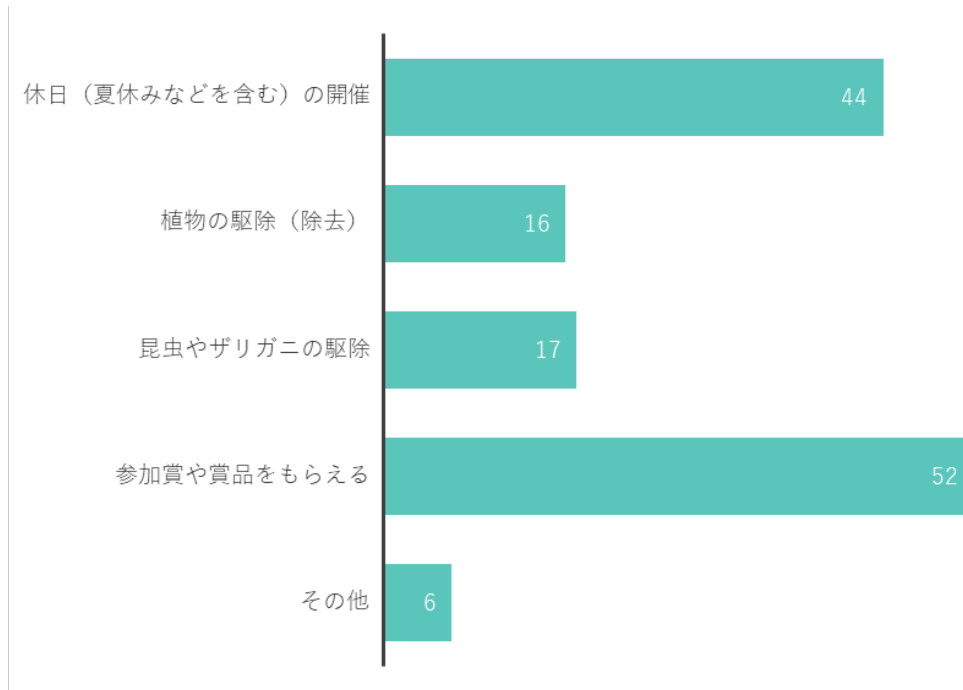
Q1.県内では外来生物による様々な被害が発生しており、県では県民の皆さんと協力しながら駆除活動を実施しています。このような外来生物の駆除活動に興味はありますか。



【調査結果の概要】

「興味がない」(53%)が、「興味がある」(47%)を上回る結果となった。

Q1-1.「Q1」で「駆除活動に興味がある」と答えた方に質問します。どんな駆除活動になら参加してみたいですか。【いくつでも選んでください】



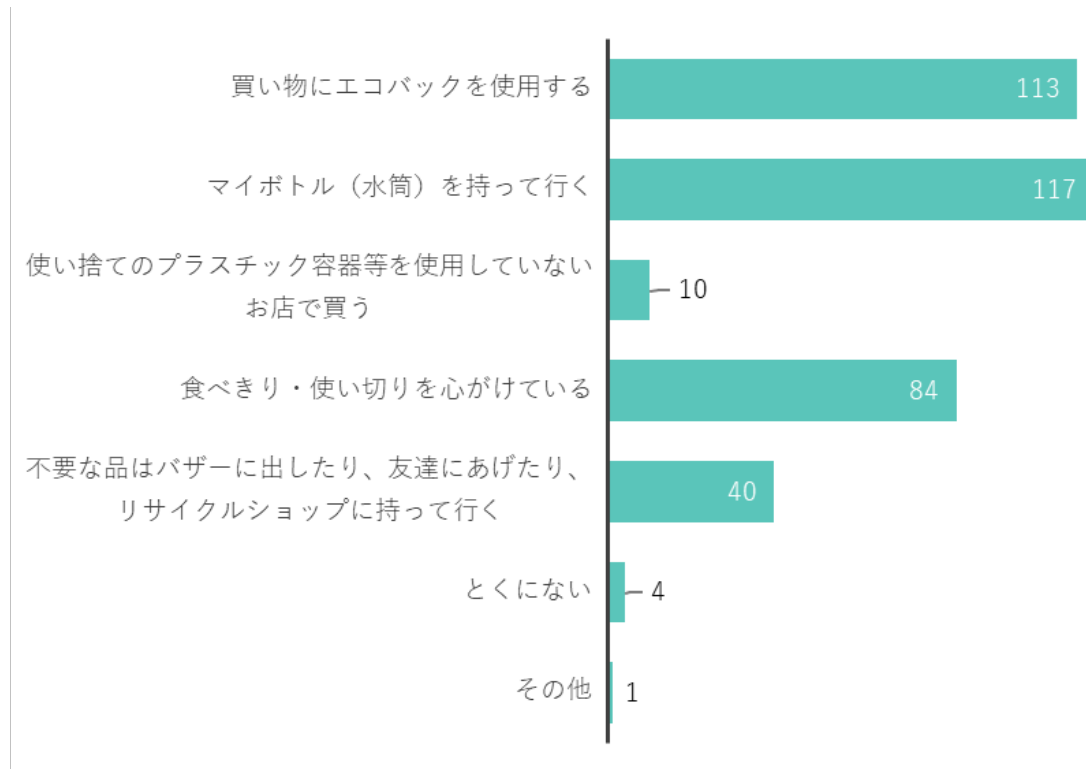
【調査結果の概要】

駆除活動への参加について「参加賞や賞品をもらえる」（52件）が最も多く、以下「休日（夏休みなどを含む）の開催」（44件）、「昆虫やザリガニの駆除」（17件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 捕獲したものを見れる。
- ・ 学校単位でやる
- ・ 興味はあるが行きたいとは思わない
- ・ 授業
- ・ 休日だと参加しやすいから。参加賞などがあることで活動への意欲が高まるから。
- ・ 駆除活動についてどんな事をするのか知りたいです
- ・ 興味はあるが、駆除活動に参加したいとは思わない。

Q2.ごみ削減に向けて、あなたがしている取組(してみたい取組)は何ですか。【いくつでも選んでください】



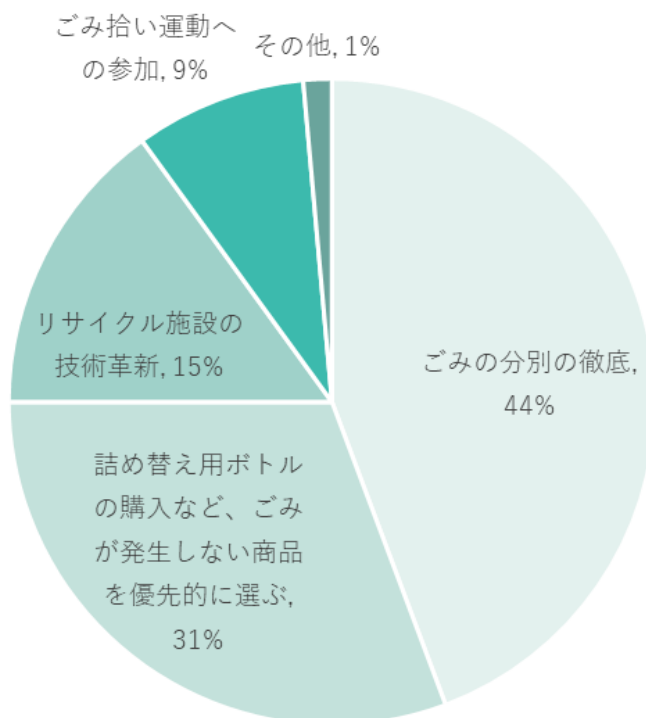
【調査結果の概要】

「マイボトル（水筒）を持っていく」（117 件）が最も多く、以下「買い物にエコバックを使用する」（113 件）、「食べきり・使い切りを心がけている」（84 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ゴミを捨てる時はなるべくコンパクトな形で捨てるようにしている

Q3.ごみ削減に向けて、あなたが特に重要と考える取組は何ですか。



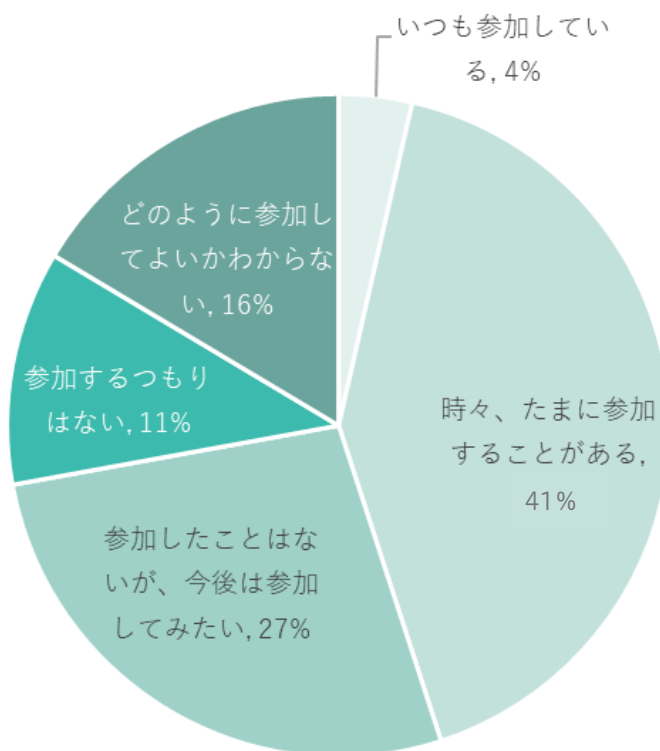
【調査結果の概要】

「ごみの分別の徹底」（44%）が最も多く、以下「詰め替え用のボトルの購入など、ごみが発生しない商品を優先的に選ぶ」（31%）、「リサイクル施設の技術革新」（15%）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 食品ロス
- ・ 不要なものは買わない

Q4.あなたは地域の清掃や環境美化活動に参加していますか。



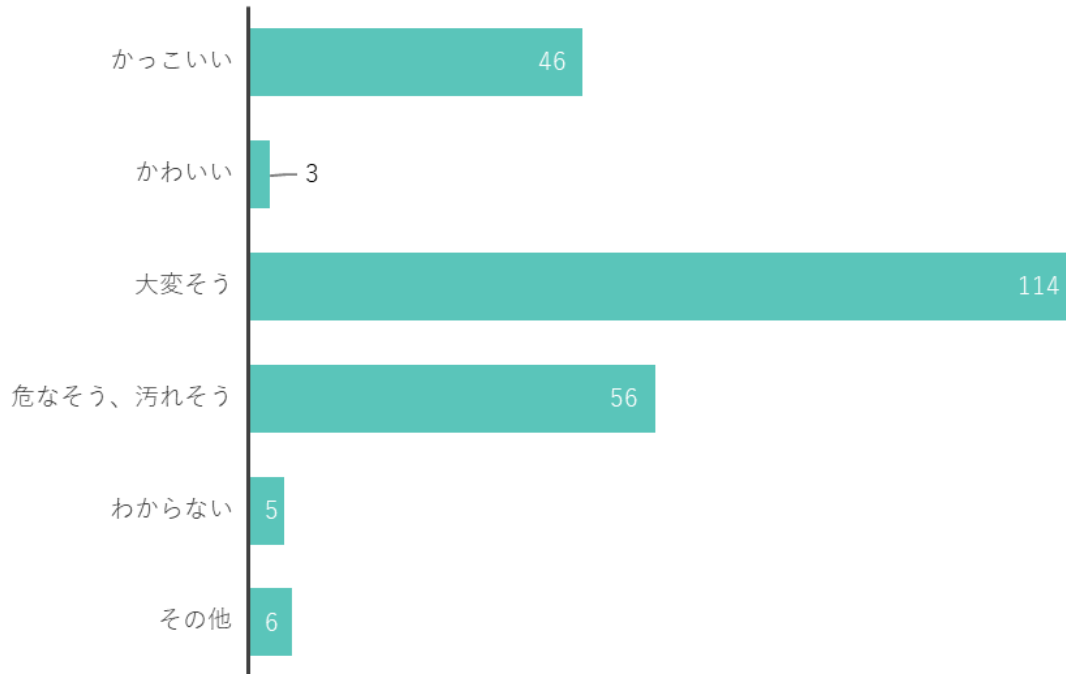
【調査結果の概要】

「時々、たまに参加することがある」（41%）が最も多く、以下「参加したことはないが、今後は参加してみたい」（27%）、「どのように参加してよいかわからない」（16%）と続いている。

テーマ 2

栃木の産業や製造業の仕事について

Q5.地元の建設業（道路や河川の整備、家やビルの建築、など）や、そこで働く人の姿にどんなイメージを持っていますか。【いくつでも選んでください】



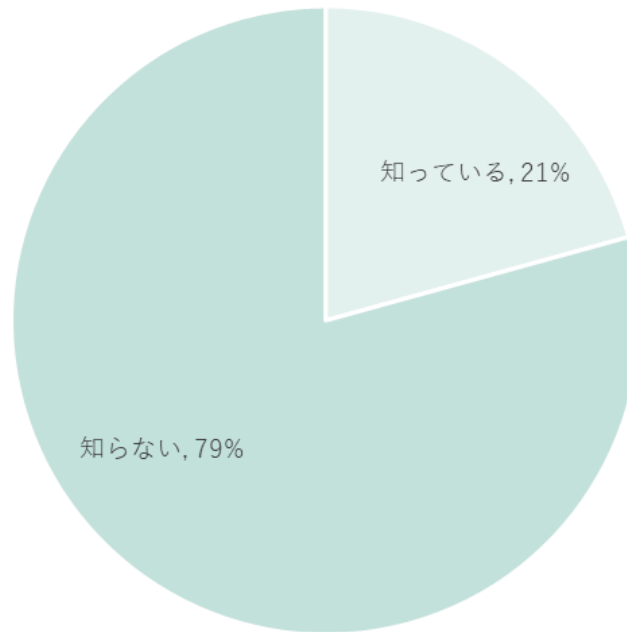
【調査結果の概要】

「大変そう」（114 件）が最も多く、以下「危なそう、汚れそう」（56 件）、「かっこいい」（46 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ニュースで事故があった、などと聞くこともある職業なので危なそう
- ・ 暑そう
- ・ 地域のためにゴミ拾いをしていて素晴らしい
- ・ 大工さんはすごいと思う暑いのが大変そう
- ・ 技術職なのに、その職業を目指す人が少なくなっていてどうになってしまうのか心配
- ・ 強そう

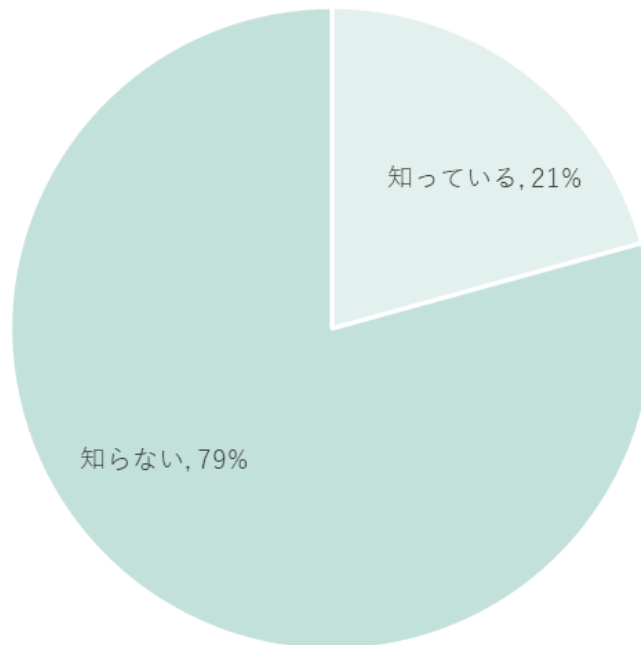
Q6.現在、地元の建設業では、週休2日がふつうになっていたり、デジタル技術で測量、設計や施工に取り組んでいるのを知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らない」（79%）が、「知っている」（21%）を大きく上回る結果となった。

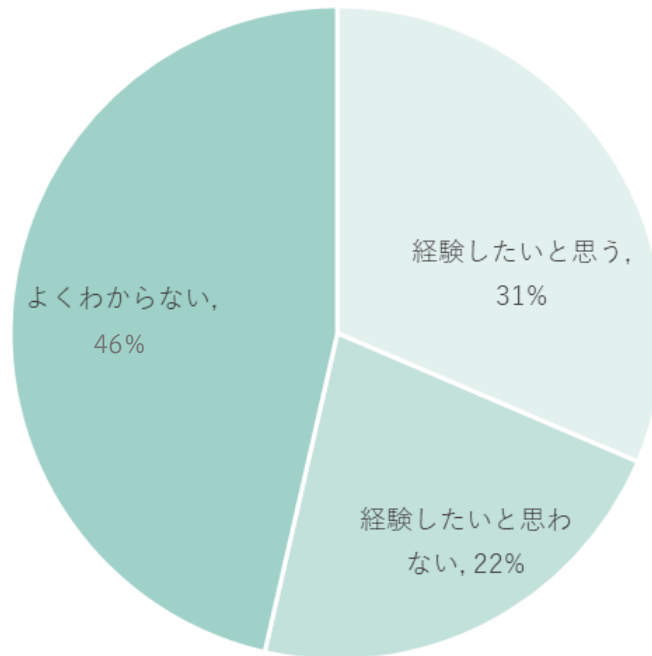
Q7.平成 27 年の台風や、令和元年の豪雨の際、初期の復旧に地元の建設業が大活躍したのを知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らない」（79%）が、「知っている」（21%）を大きく上回る結果となった。

Q8.建設業は壮大なものづくりです。「地図に残る仕事」をやり遂げる経験をしたいと思いませんか。



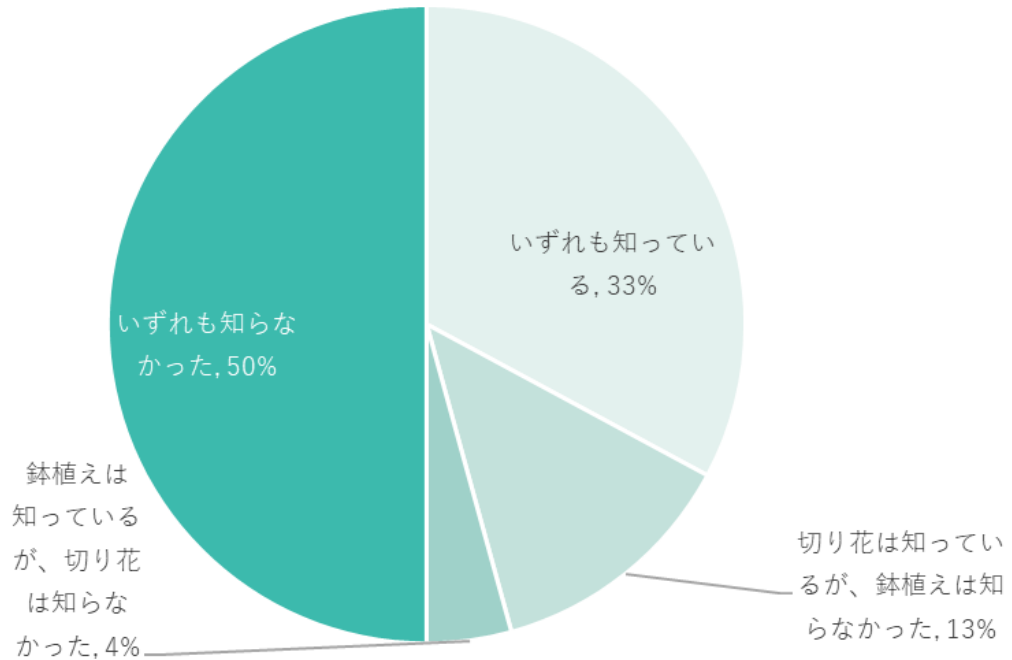
【調査結果の概要】

「よくわからない」（46%）が最も多く、「経験したいと思う」（31%）、「経験したいと思わない」（22%）と続いている。

テーマ 3

「花」の購入について

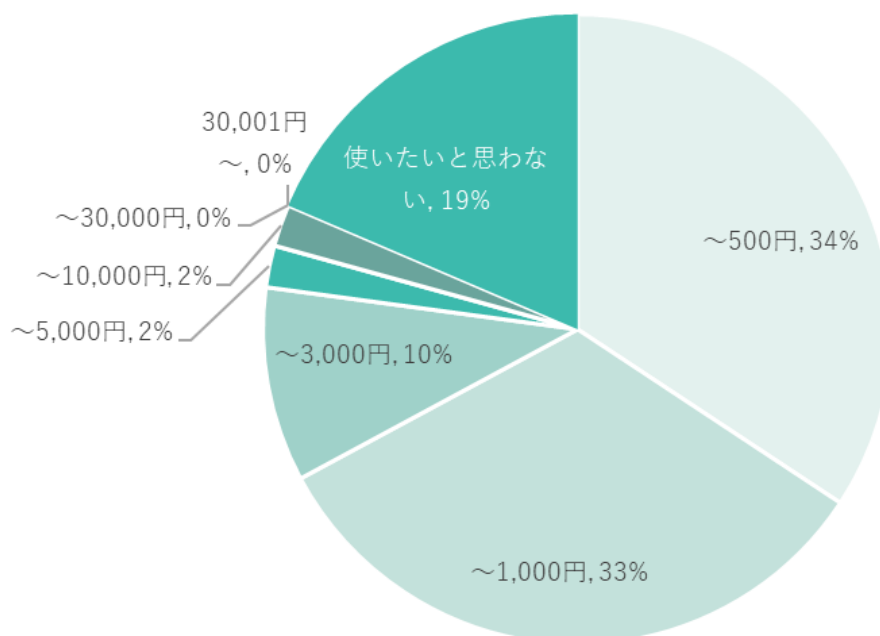
Q9.切り花は 100 円程度から、鉢植えは 1,000 円程度から購入できることを知っていますか。



【調査結果の概要】

「いずれも知らなかった」（50%）が最も多く、以下「いずれも知っている」（33%）、「切り花は知っているが、鉢植えは知らなかった」（13%）と続いている。

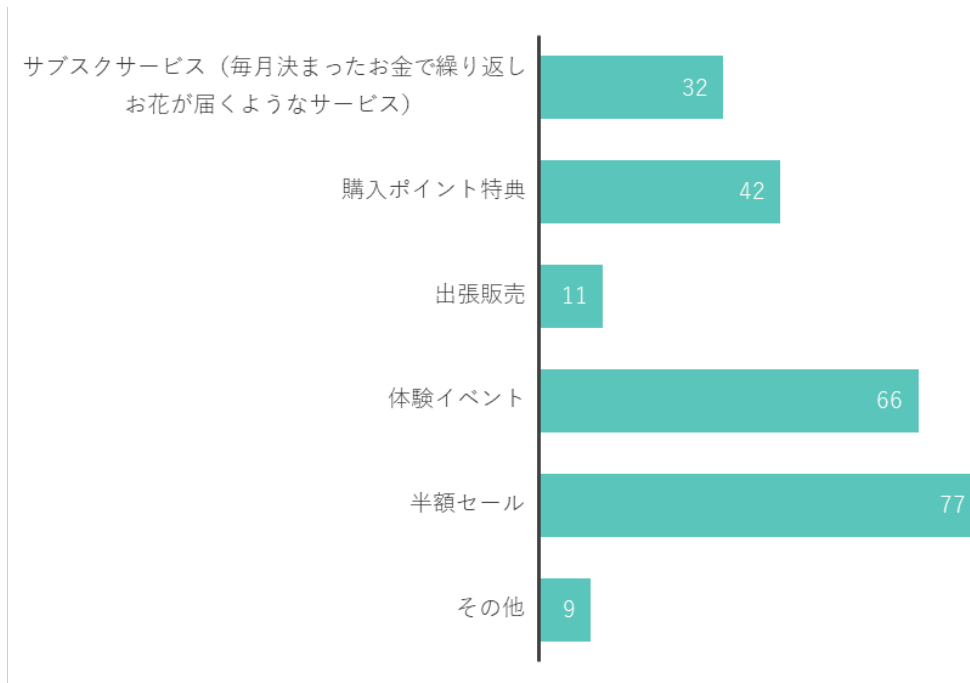
Q10.自分やご自宅用に花を購入する場合、月にいくらまでなら使ってもいいと思いますか。上記の金額を参考に購入頻度や個数を想定してみてください。



【調査結果の概要】

「~500円」（34%）が最も多く、以下「~1,000円」（33%）、「使いたいと思わない」（19%）と続いている。

Q11.次のサービスのうち、自分やご自宅用に花を購入するきっかけになると思うものを選んでください。【いくつでも選んでください】



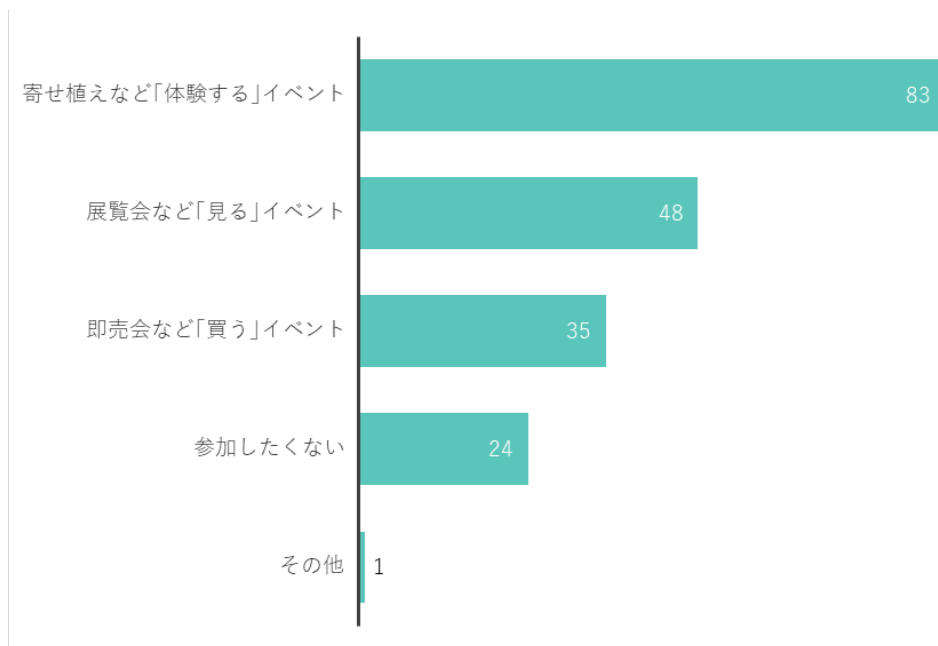
【調査結果の概要】

「半額セール」（77 件）が最も多く、以下「体験イベント」（66 件）、「購入ポイント特典」（42 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 季節の花を紹介してくれるような紙があるといいなと思います。
- ・ 花束のセンスがある店から買いたい
- ・ 母の日などの年中行事
- ・ お小遣いでは買わないので分からない。母の日なら買います。

Q12.次のような花に関するイベントのうち、あなたが参加したいと思うものを選んでください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「寄せ植えなど『体験する』イベント」（83件）が最も多く、以下「展覧会など『見る』イベント」（48件）、「即売会など『買う』イベント」（35件）と続いている。

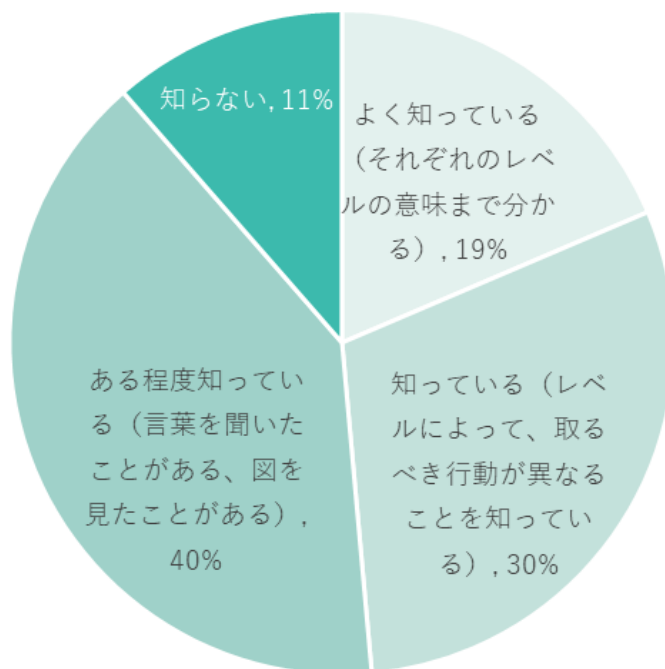
【その他の自由記述】

- ・ 有名な方に教わりたい
- ・ 体験を通して花に触れられると思ったから

テーマ 4

防災意識について

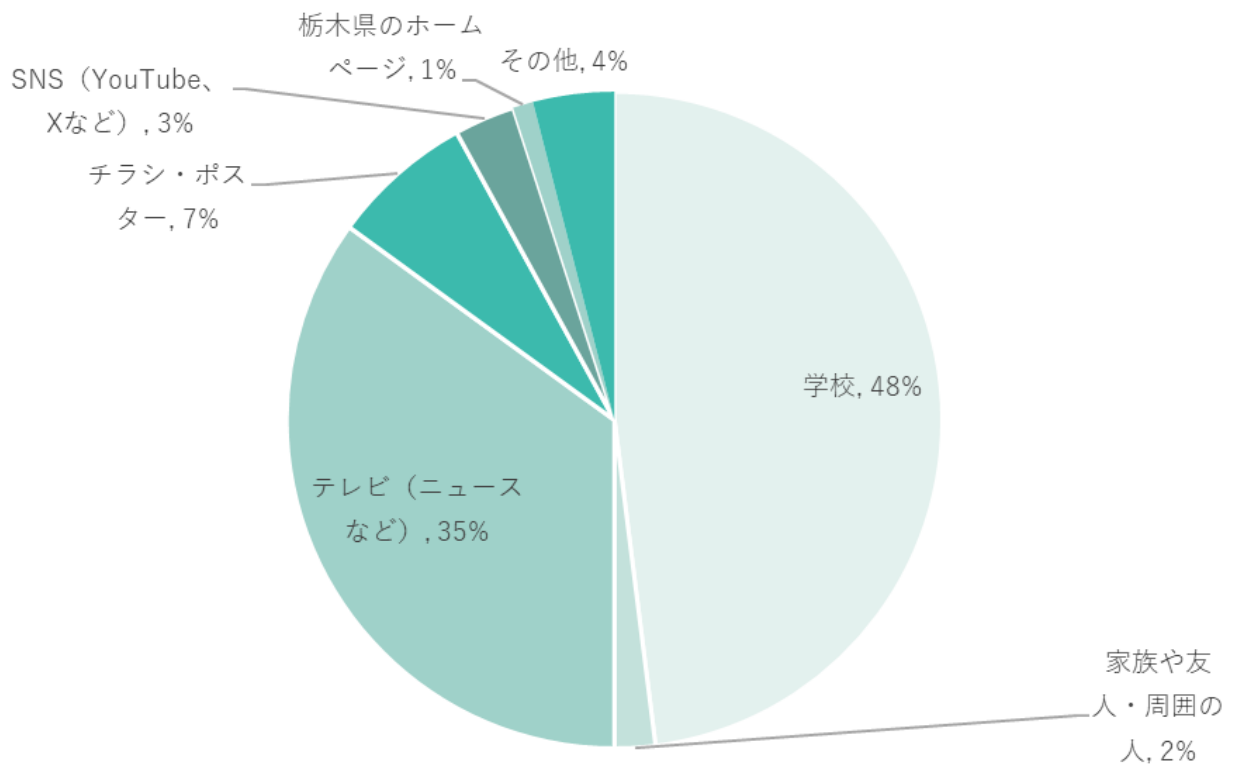
Q13.あなたは、大雨や土砂災害において危険な場所から避難するタイミングの目安である「5段階の警戒レベル」を知っていますか。



【調査結果の概要】

「ある程度知っている（言葉を聞いたことがある、図を見たことがある）」（40%）が最も多く、以下「知っている（レベルによって、取るべき行動が異なることを知っている）」（30%）、「よく知っている（それぞれのレベルの意味まで分かる）」（19%）と続いている。

Q14.「Q13」で「知っている、聞いたり見たことがある」と答えた方に質問します。「5段階の警戒レベル」を何を通して知りましたか。



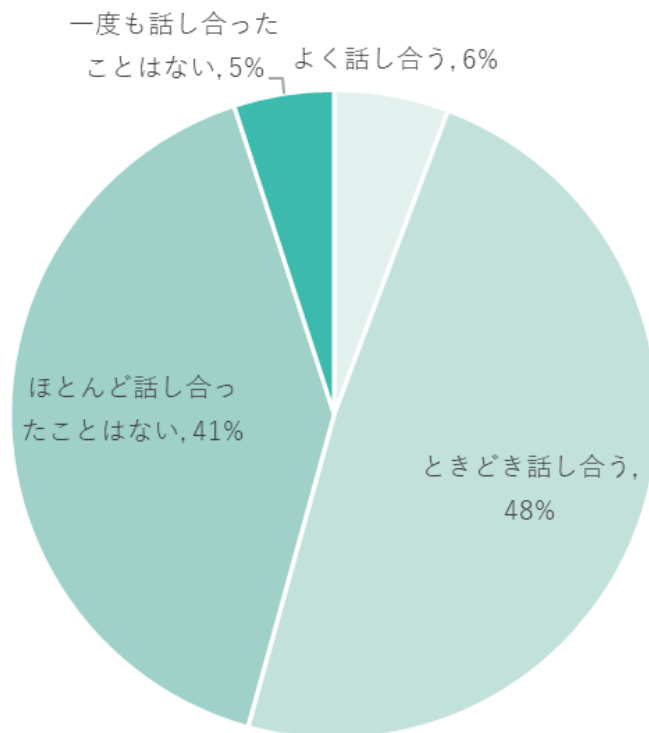
【調査結果の概要】

「学校」（48%）が最も多く、以下「テレビ（ニュースなど）」（35%）、「チラシ・ポスター」（7%）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 学校の授業や教科書
- ・ パンフレット
- ・ 手軽に情報が得られるから

Q15.あなたは地震や大雨などの災害に対する備えについて、家族と話し合いますか。



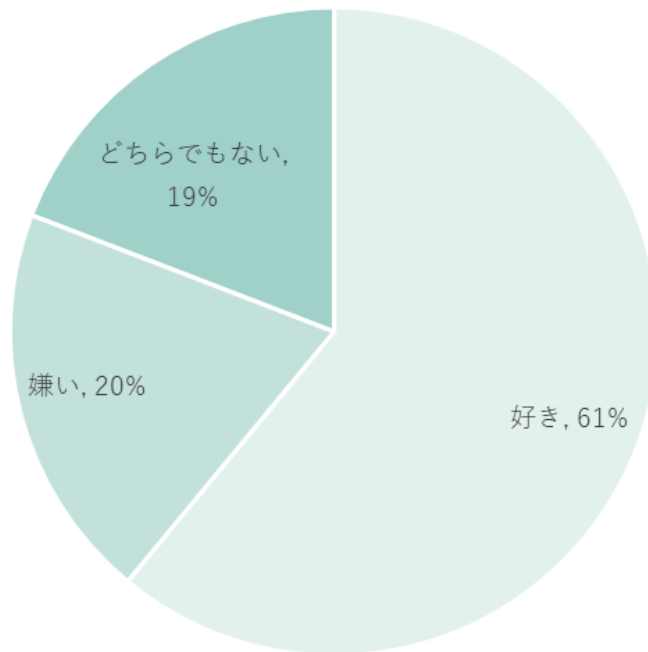
【調査結果の概要】

「ときどき話し合う」（48%）が最も多く、以下「ほとんど話し合ったことはない」（41%）、「よく話し合う」（6%）と続いている。

テーマ 5

運動をすることについて

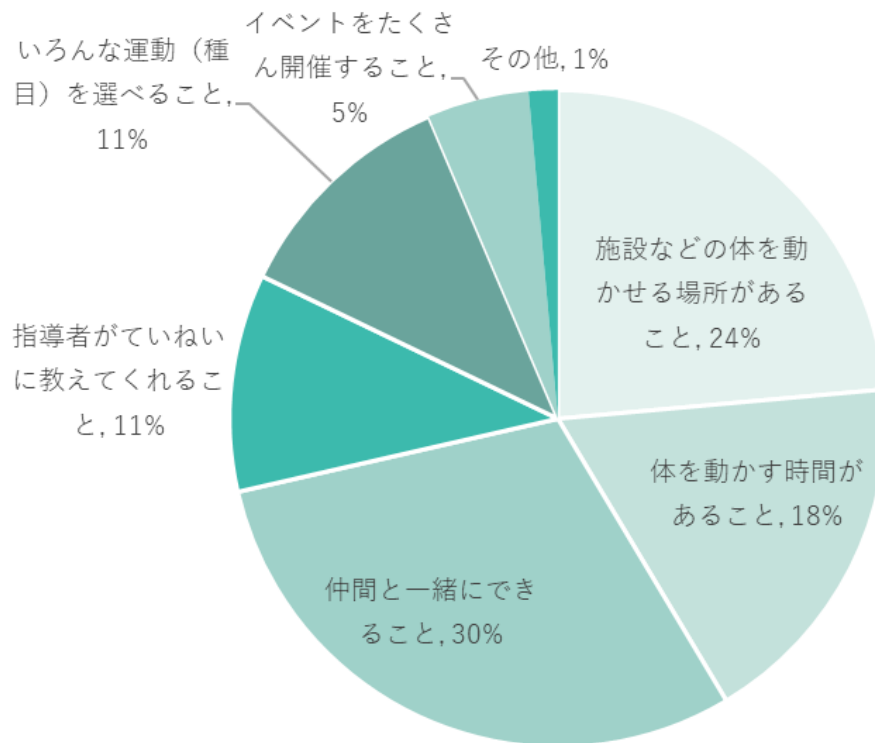
Q16.あなたは運動やスポーツなど、体を動かすことが好きですか。



【調査結果の概要】

「好き」（61%）が最も多く、以下「嫌い」（20%）、「どちらでもない」（19%）が続いている。

Q17.運動やスポーツなど、体を動かす活動をもっと楽しむために、どんなことが必要だと思いますか。



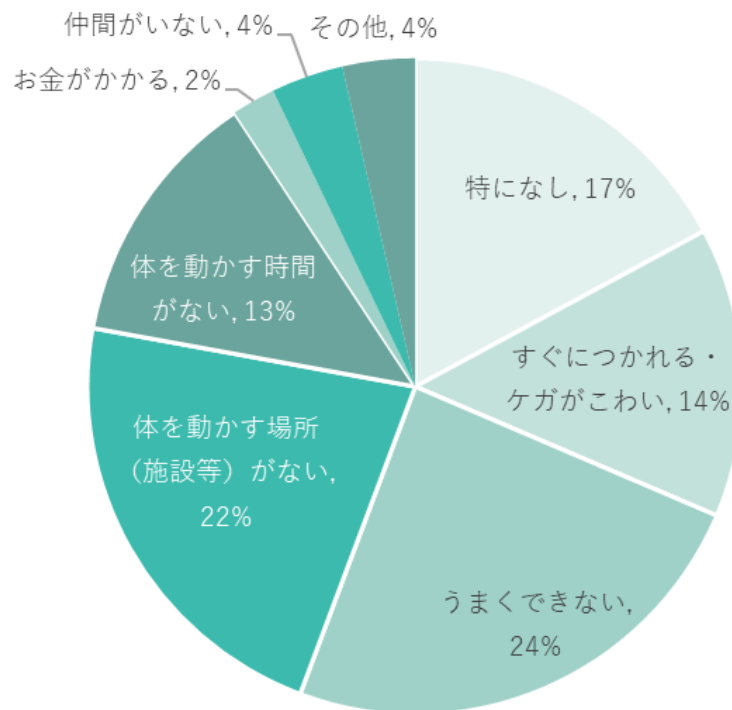
【調査結果の概要】

「仲間と一緒にできること」（30%）が最も多く、以下「施設などの体を動かせる場所があること」（24%）、「体を動かす時間があること」（18%）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 丁寧に教えてもらえることで安心できたと思ったから
- ・ 手足の不自由さがあってもできる運動を普及してほしいです。

Q18.運動やスポーツなど、体を動かす活動をする際に困っていることは何ですか。



【調査結果の概要】

「うまくできない」（24%）が最も多く、以下「体を動かす場所（施設等）がない」（22%）、「特になし」（17%）と続いている。

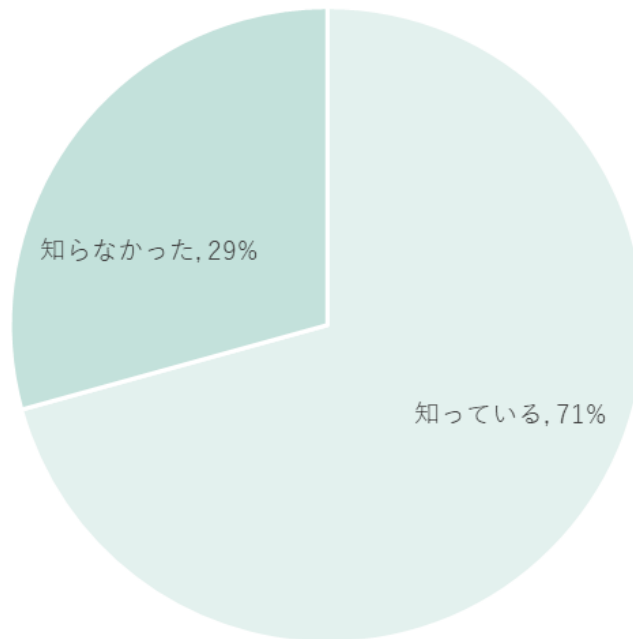
【その他の自由記述】

- ・ 生理の時は、激しい運動することは出来ない。
- ・ 人の目が気になる。
- ・ 近くに、バスケットボールゴールやコートが無いこと
- ・ 運動が苦手だから
- ・ 体が少し動きにくいので、学校でも健常者があたりまえにできることができなくてつらいです。
- ・ 部活動での先生との相性。上手い子下手な子の区別？差別をなくして指導して欲しい。

テーマ 6

自転車利用時の保険加入について

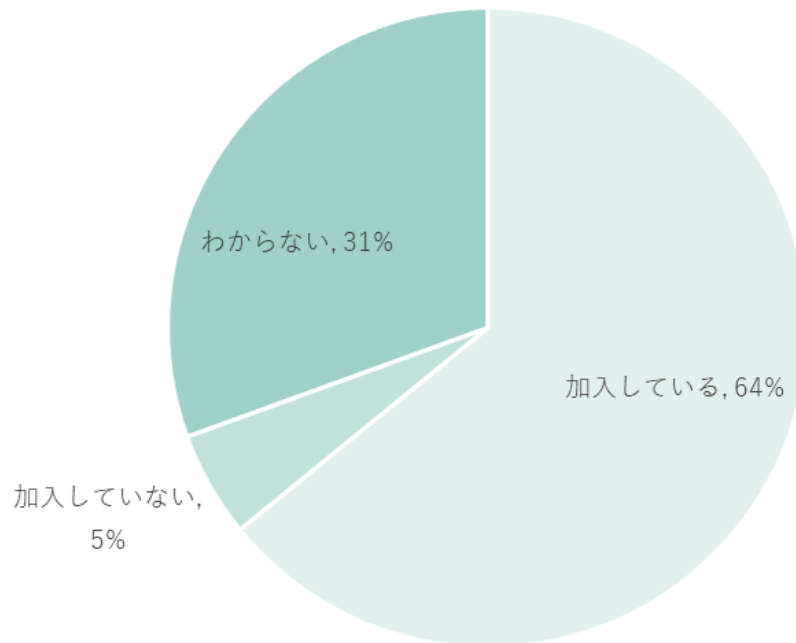
Q19.栃木県の条例の規定により、自転車を利用する人は、自転車損害賠償責任保険等への加入義務があることを知っていますか。※自転車損害賠償責任保険等とは、自転車の事故で相手にケガをさせてしまった場合の補償に関する保険や共済などのことです。



【調査結果の概要】

「知っている」（71%）が、「知らなかった」（29%）を大きく上回る結果となった。

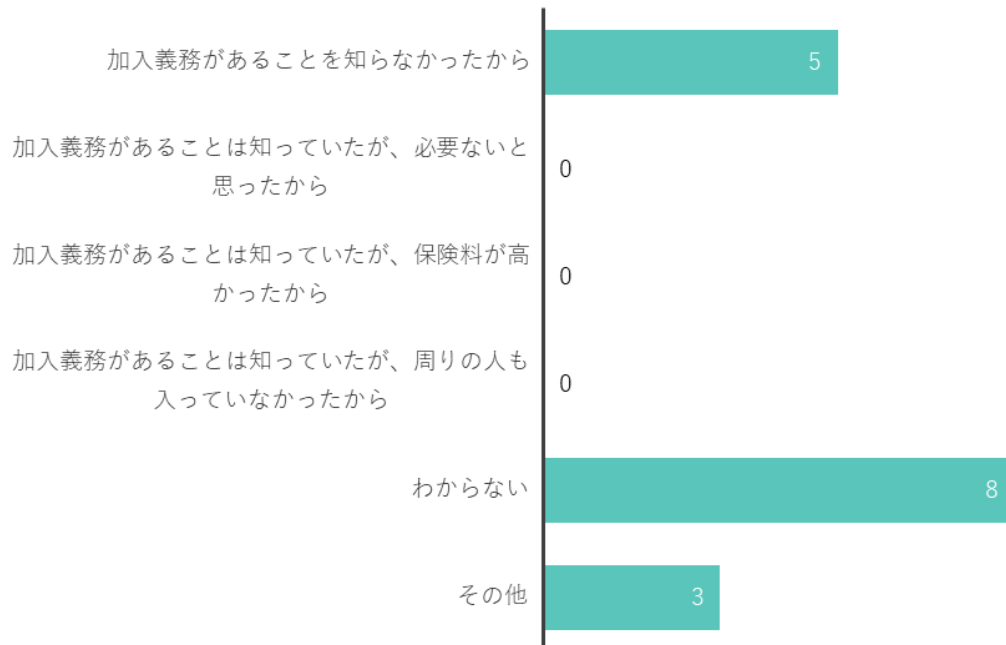
Q20.自転車を利用している方に質問です。あなたは、自転車損害賠償責任保険等に参加していますか。



【調査結果の概要】

「加入している」(64%)が最も多く、以下「わからない」(31%)、「加入していない」(5%)と続いている。

Q21.「Q20」で「加入していない」と回答した方にお聞きします。自転車損害賠償責任保険等に加入していない理由は何ですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「わからない」（8件）が最も多く、以下「加入義務があることを知らなかったから」（5件）、「その他」（3件）と続いている。

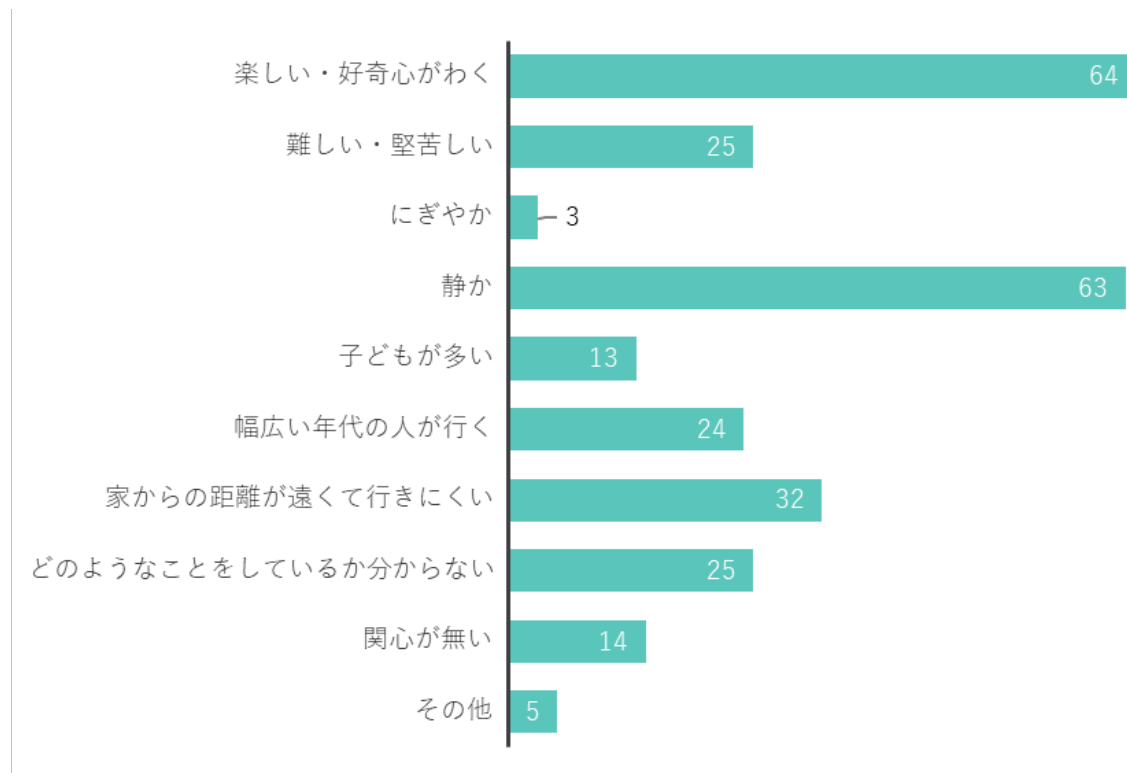
【その他の自由記述】

- ・ 期限切れ
- ・ 車の損害賠償特約に入っているから。
- ・ 自転車を利用していないか

テーマ 7

博物館、美術館について

Q22.あなたは栃木県立博物館について、どのようなイメージがありますか。【いくつでも選んでください】



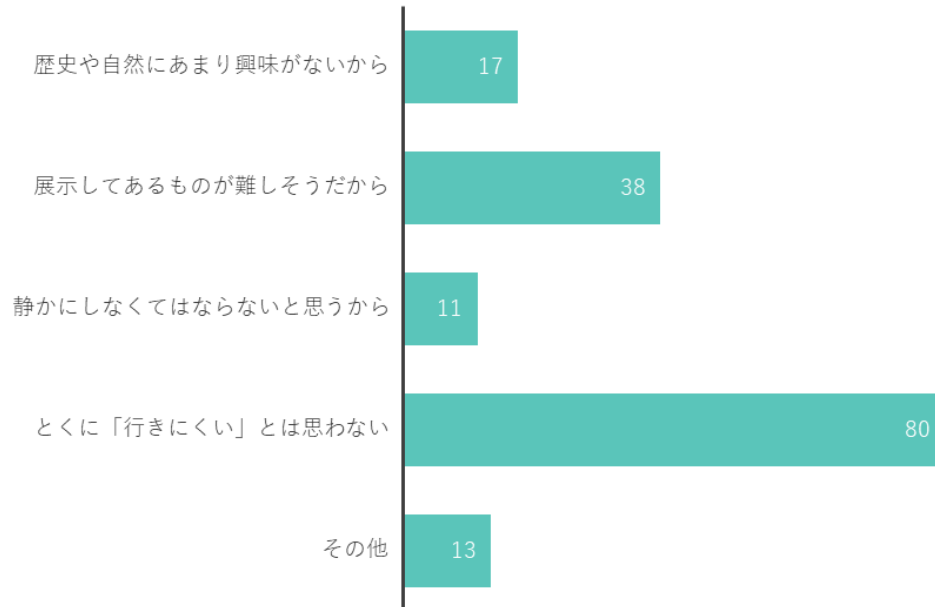
【調査結果の概要】

「楽しい・好奇心がわく」(64 件)が最も多く、以下「静か」(63 件)、「家からの距離が遠くて行きにくい」(32 件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 子供の頃よく行ったので懐かしい。
- ・ 公式キャラクターの「みーたん」が可愛い。
- ・ 常設展示をリニューアルして欲しい。
- ・ 特別展は栃木県に関することにこだわりすぎていると思う。
- ・ 地味な印象。
- ・ 立派な施設なので私たちの世代(中学生)にも刺さる企画をやってほしい。
- ・ 涼しい。

Q23.栃木県立博物館に「行きにくいな」と思うことはありますか。あれば、理由をおしえてください。【いくつでも選んでください】



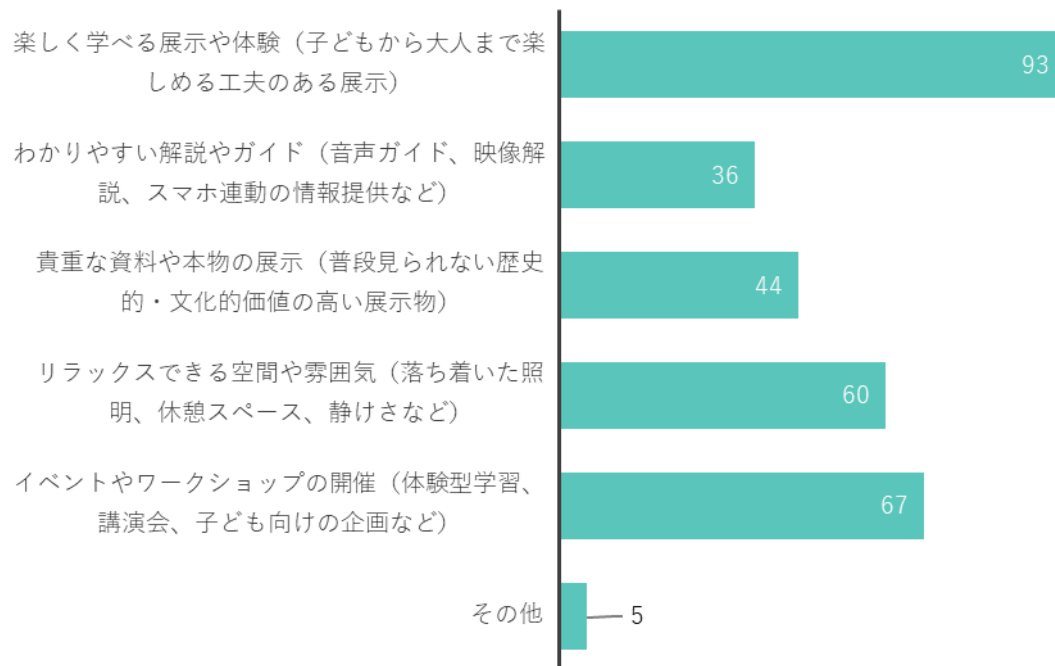
【調査結果の概要】

「とくに『行きにくい』とは思わない」(80 件)が最も多く、以下「展示してあるものが難しそうだから」(38 件)、「歴史や自然にあまり興味がないから」(17 件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 家から遠いので、自分だけで行けない。
- ・ 週末のイベントに参加したいけれど、予約制なので参加できない。
- ・ 公園の自然が多くて、虫が嫌。
- ・ 興味がない。
- ・ 何をしているのかが分からない。
- ・ 面白そう、これ見てみたい！と思う内容がない。
- ・ どこにあるか分からない。

Q24.栃木県立博物館にどのようなことを期待しますか。【いくつでも選んでください】



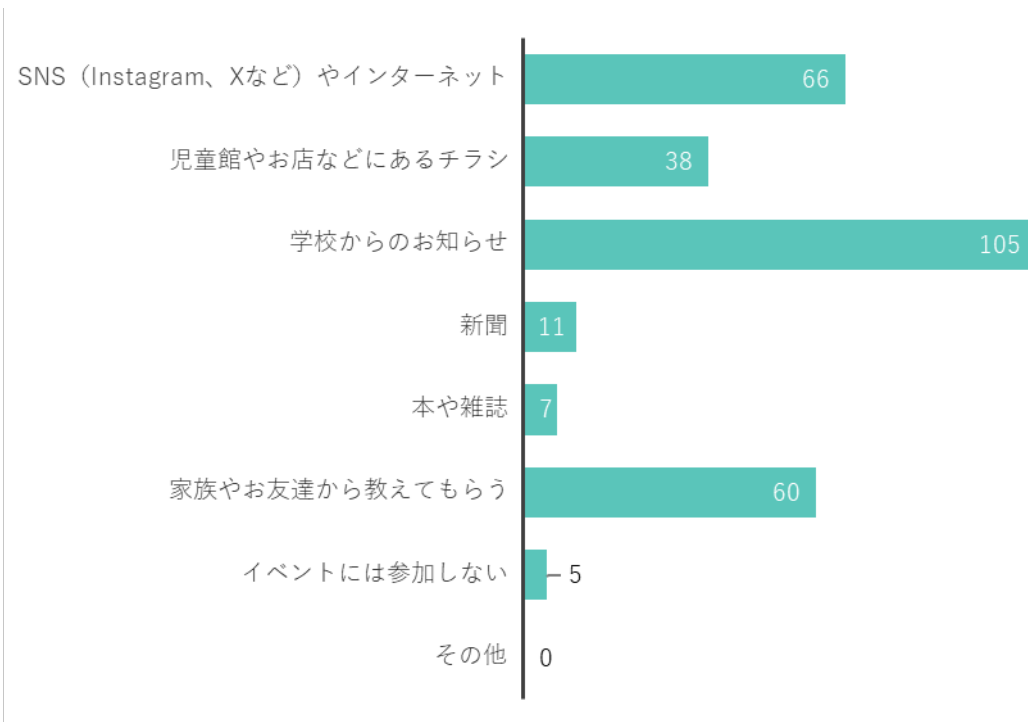
【調査結果の概要】

「楽しく学べる展示や体験（子どもから大人まで楽しめる工夫のある展示）」（93 件）が最も多く、以下「イベントやワークショップの開催（体験型学習、講演会、子ども向けの企画など）」（67 件）、「リラックスできる空間や雰囲気（落ち着いた照明、休憩スペース、静けさなど）」（60 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 施設のデザイン、おしゃれさ。
- ・ レストランを広くし、もっと利用しやすくしてほしい。
- ・ ショップの内容を充実させてほしい。
- ・ わかりやすい解説。
- ・ 他県の博物館から資料を借りてきて、共同開催などできるといい。
- ・ オリジナルグッズを増やしてほしい。

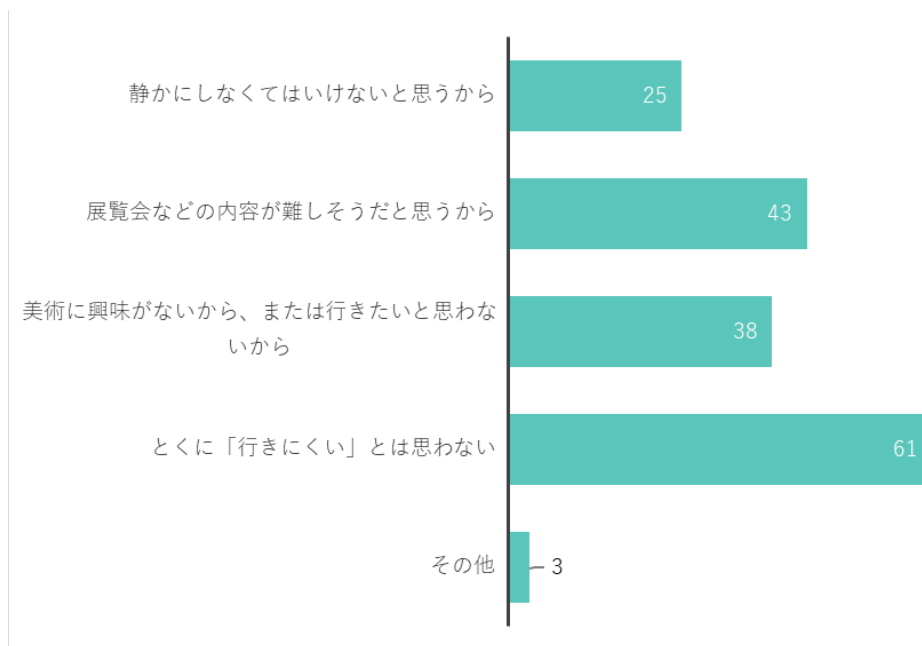
Q25.あなたが参加するイベントの情報収集は、何を通して行っていますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「学校からのお知らせ」(105 件)が最も多く、以下「SNS(Instagram、X など)やインターネット」(66 件)、「家族やお友達から教えてもらう」(60 件)と続いている。

Q26.美術館に「行きにくいな」と思うことはありますか。あれば、理由をおしえてください。【いくつでも選んでください】



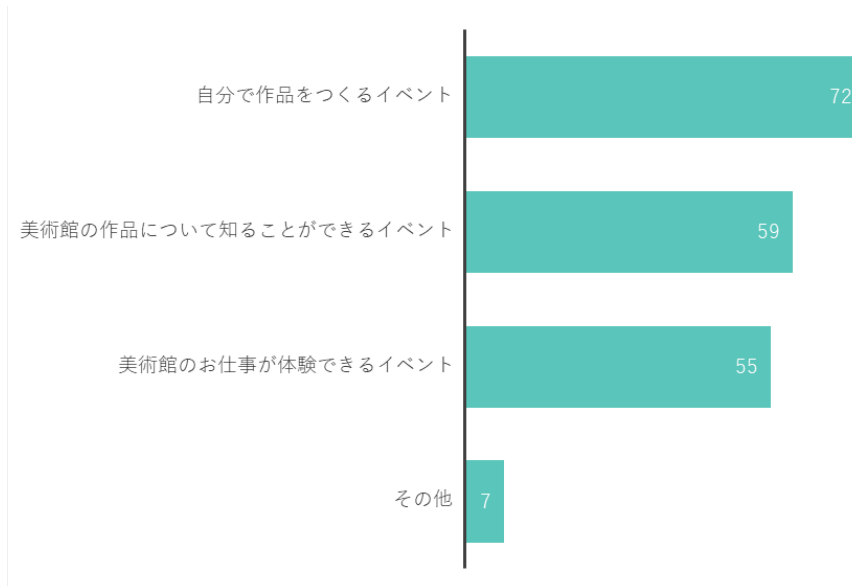
【調査結果の概要】

「とくに『行きにくい』とは思わない」(61 件)が最も多く、以下「展示会などの内容が難しそうだと思うから」(43 件)、「美術に興味がないから、または行きたいと思わないから」(38 件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 遠いよ。
- ・ 行ったことないです
- ・ 美術的なことがよくわからないから
- ・ 今、どんな物が開催されているのかわからないから

Q27.栃木県立美術館では今年、「動くゴッホ展」や「絵本のひみつ展」など、親しみやすい展示も多く開催します。今後、美術館で開催してほしいイベントや企画展などを教えてください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「自分で作品をつくるイベント」(72 件)、「美術館の作品について知ることができるイベント」(59 件)が最も多く、以下「美術館のお仕事体験できるイベント」(55 件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ なんでもいいからとにかくたくさん開催してくれたら嬉しいです。
- ・ 鳥山あきら展
- ・ 絵本の作家さんに会いたいチームラボが来て欲しいジブリの背景画を描いているところをみたい
- ・ モネの作品・親子で楽しめるもの
- ・ 栃木県出身作家などは地味であり興味がない。奈良美智の作品を展示してほしい
- ・ 歴史人物のジオラマが作れるイベント
- ・ チームラボみたいな没入体験。
- ・ 誰もが知っている人の展示会